

愛知県のぶどう生産の概要

2019年産の本県産ぶどうの結果樹面積※は438ヘクタール、収穫量は4,110トンで、結果樹面積は全国7位、収穫量は全国9位です（表1、表2）。大府市を始め、県内で広く栽培されています（表3）。

県内で栽培されている品種は、「巨峰」が7割を占め、なかでも、植物成長調整剤ジベレリンを用いた「種なし巨峰」の栽培は本県が発祥です。

また、近年では「シャインマスカット」など様々な品種が導入されています（図1）。

※ 結果樹面積

収穫するための果実を結実させた園地の面積。

表1 全国主産県と愛知県のぶどう結果樹面積（2019年産）

順位	県名	結果樹面積 ha	結果樹面積 シェア %
1	山梨県	3,780	22.8
2	長野県	2,280	13.7
3	山形県	1,480	8.9
7	愛知県	438	2.6
全国計		16,600	100.0

（果樹生産出荷統計）

表2 全国主産県と愛知県のぶどう収穫量（2019年産）

順位	県名	収穫量 t	収穫量 シェア %
1	山梨県	36,900	21.4
2	長野県	31,700	18.4
3	山形県	16,400	9.5
9	愛知県	4,110	2.4
全国計		172,700	100.0

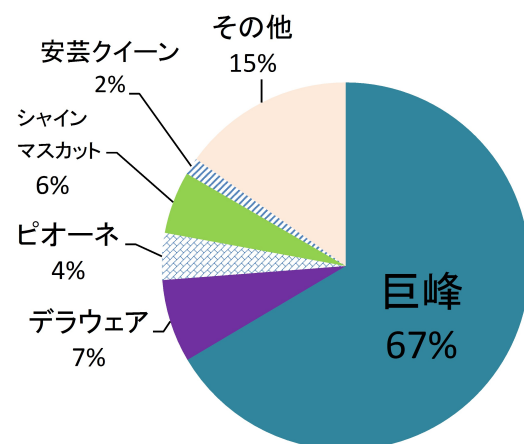
（果樹生産出荷統計）

表3 愛知県市町村別栽培状況（2017年産）

順位	市町村名	栽培面積 ha	シェア %
1	大府市	63.0	20.6
2	東浦町	62.0	20.3
3	東海市	31.2	10.2
4	岡崎市	29.4	9.6
5	豊橋市	19.6	6.4
6	春日井市	13.0	4.3
7	名古屋市	11.7	3.8
8	豊田市	10.7	3.5
9	小牧市	9.4	3.1
10	刈谷市	9.2	3.0

（愛知県調べ）

図1 愛知県におけるぶどうの品種構成（2017年産）



（愛知県調べ）